

# 令和6年度武蔵村山市立学校 学校経営方針

学校名 武蔵村山市立小中一貫校大南学園第七小学校

校長 川口 周作

## 教育目標

校訓「自主創造」

◎すすんで

(自主・自立)

○みんなのために

(共生・貢献)

○たくましく

(健康・大志)

## 1 目指す特色ある学校像

- (1) 体験活動や交流活動を通して学びに向かう力を育む学校
- (2) 多様な考えを認め合う中で自分の考えや思いを伝える力を育む学校
- (3) 健康・体力を育む学校

## 2 経営の具体策

- (1) 体験活動や交流活動を通して学びに向かう力を育む（学ぶ楽しさ）
  - ・学習農園を生かした探求学習の実践
  - ・第四中学校との小中一貫教育活動の取組の推進
  - ・地域と連携した防災教育の取組
  - ・ICT を活用した学習活動の推進
- (2) 多様な考えを認め合う中で自分の考えや思いを伝える力を育む（人とかかわる楽しさ）
  - ・すべての教育活動での「発表」「話し合い活動」など積極的な言語活動の充実
  - ・道徳の時間や情報モラル教育等を通じた、思いやりの心、生活態度や社会的な判断力などの規範意識の醸成
  - ・地域の方々と様々な方法でかかわる交流活動や、キャリア教育、まちづくり学習を通じた、地域社会の一員としての自覚を育む取組
- (3) 健康・体力を育む（元気に育つ楽しさ）
  - ・体育の授業、長縄・短縄習慣、生活習慣チェック、保健指導などを通して体力の維持向上と健康の増進のための取組
  - ・日々の給食指導や食に関する活動への取組など、食に対する意識向上により健全な成長を目指す食育の推進
  - ・担任・養護教諭・スクールカウンセラー等との連携を通じた、児童の心の安定を図る取組

### 小中一貫教育推進に向けた方策

○学習行動目標「わけをそえて話す ことができる子ども」を基盤にする。

- ・各教科の授業において、話型を意識した授業展開の指導・活動の工夫
- ・子どもの思考を生み出す授業展開の教材の工夫
- ・小中の合同 OJT 研修会と校内研究会を通して授業力向上を図る。
- ・特別活動を中心とした交流活動の実施。